



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 秩父鉄道株式会社 上場取引所 東
コード番号 9012 URL <https://www.chichibu-railway.co.jp>
代表者 （役職名）代表取締役社長 （氏名）牧野 英伸
問合せ先責任者 （役職名）執行役員総務部長 （氏名）佐藤 伸 TEL 048-523-3311
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	2,828	9.8	296	257.6	274	304.7	235	827.7
2025年3月期中間期	2,575	6.5	82	158.2	67	57.5	25	△89.2

（注）包括利益 2026年3月期中間期 241百万円（879.5%） 2025年3月期中間期 24百万円（△10.9%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	158.86	—
2025年3月期中間期	17.12	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期中間期	16,841	5,244	31.1	3,531.18
2025年3月期	16,899	5,003	29.6	3,368.68

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,244百万円 2025年3月期 5,003百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期	—	0.00			
2026年3月期（予想）			—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,300	0.4	190	△37.7	140	△48.2	110	△4.8	74.06

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2026年3月期中間期	1,500,000株	2025年3月期	1,500,000株
-------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2026年3月期中間期	14,834株	2025年3月期	14,682株
-------------	---------	----------	---------

③ 期中平均株式数 (中間期)

2026年3月期中間期	1,485,286株	2025年3月期中間期	1,485,510株
-------------	------------	-------------	------------

※ 第2四半期 (中間期) 決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3頁「1. 当中間決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当中間決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(中間連結損益計算書に関する注記)	8
(中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9
3. 補足情報	11
(参考) 鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入	11

1. 当中間決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当中間連結会計期間におきましては、観光需要が堅調に推移したものの、物価の上昇など、注視が必要な状況が続きました。

このような中、当中間連結会計期間の業績につきましては、営業収益は2,828百万円（前年同期比9.8%増）、営業利益は296百万円（同257.6%増）、経常利益は274百万円（同304.7%増）、親会社株主に帰属する中間純利益は235百万円（同827.7%増）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりです。

[鉄道事業]

鉄道事業におきましては、旅客部門は、SLパレオエクスプレス運行区間の延伸を初めて実現させた行田市駅発「SL日本遺産のまち行田号」をはじめ、沿線市町などと連携した企画列車を運行いたしました。また、需要の動向を踏まえ、繁忙期において臨時列車を運行するなど、積極的な旅客誘致に取り組みました。これらのほか、前期に実施した旅客運賃の改定の効果もあり、旅客収入は前年同期に比べ増加いたしました。

貨物部門は、輸送量が増加したことにより、貨物収入は前年同期に比べ増加いたしました。

営業費用は、修繕工事の一部が第3四半期以降に変更となったため修繕費が前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は1,835百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益は125百万円（前年同期は89百万円の営業損失）となりました。

[不動産事業]

不動産事業におきましては、賃貸ビルの入居率低下などにより、賃貸収入は前年同期に比べ減少いたしました。

この結果、営業収益は169百万円（前年同期比8.8%減）、営業利益は96百万円（同14.4%減）となりました。

[観光事業]

観光事業におきましては、長瀬地域への来訪者が増加したほか、7月にオープンした「SUSABINOテラス」の効果もあり、長瀬ラインくんだりや宝登山ロープウェイなど、各施設の収入は前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は338百万円（前年同期比32.0%増）、営業利益は85百万円（同139.5%増）となりました。

[卸売・小売業]

卸売・小売業におきましては、コンビニエンスストアの収入などが増加いたしました。

営業費用は、人件費などが前年同期に比べ増加いたしました。

この結果、営業収益は332百万円（前年同期比5.7%増）、営業利益は7百万円（同23.3%減）となりました。

[その他]

建設・電気工事業におきましては、完成工事高が減少いたしました。バス事業におきましては、貸切バスの収入が減少いたしました。

この結果、営業収益は323百万円（前年同期比23.3%減）、営業損失は24百万円（前年同期は9百万円の営業利益）となりました。

（2）財政状態に関する説明

当中間連結会計期間末における財政状態について、総資産は、前連結会計年度末に比べ58百万円減少し16,841百万円となりました。流動資産は前連結会計年度末に比べ142百万円減少し1,888百万円、固定資産は83百万円増加し14,952百万円となりました。流動資産減少の主な要因は、その他に含まれる補助金等の未収金が減少したことによるものです。固定資産増加の主な要因は、有形固定資産の増加によるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ299百万円減少し11,596百万円となりました。流動負債は前連結会計年度末に比べ396百万円減少し3,592百万円、固定負債は96百万円増加し8,003百万円となりました。流動負債減少の主な要因は、支払手形及び買掛金の減少によるものです。固定負債増加の主な要因は、長期借入金の増加によるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ240百万円増加し5,244百万円となりました。主な要因は、親会社株主に帰属する中間純利益の計上によるものです。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年11月6日の「業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしましたとおり、当第2四半期（中間期）の連結業績予想を修正いたしましたが、通期の業績予想につきましては、現在精査中であり、現時点では前回予想値を据え置いております。今後修正が必要となった場合には速やかに公表いたします。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,077,750	1,170,752
受取手形、売掛金及び契約資産	436,232	339,761
分譲土地建物	93,098	92,747
商品及び製品	34,288	35,488
原材料及び貯蔵品	177,186	180,031
その他	216,385	73,727
貸倒引当金	△4,159	△3,968
流動資産合計	2,030,781	1,888,540
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	13,195,584	13,242,642
減価償却累計額	△10,227,995	△10,252,623
建物及び構築物(純額)	2,967,588	2,990,018
機械装置及び運搬具	4,313,991	4,473,925
減価償却累計額	△4,010,701	△4,054,163
機械装置及び運搬具(純額)	303,290	419,761
土地	10,993,233	10,993,233
その他	1,176,676	1,131,362
減価償却累計額	△759,621	△771,634
その他(純額)	417,054	359,727
有形固定資産合計	14,681,167	14,762,741
無形固定資産	14,596	14,501
投資その他の資産		
投資有価証券	111,793	118,371
繰延税金資産	17,002	15,889
その他	65,920	63,871
貸倒引当金	△21,444	△22,719
投資その他の資産合計	173,271	175,413
固定資産合計	14,869,034	14,952,656
資産合計	16,899,816	16,841,196

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	527,812	128,477
短期借入金	755,000	755,000
1年内返済予定の長期借入金	1,438,682	1,533,576
未払法人税等	34,804	53,437
未払消費税等	76,390	98,731
契約負債	109,513	117,419
賞与引当金	203,711	193,689
その他	843,021	712,497
流動負債合計	3,988,936	3,592,828
固定負債		
長期借入金	3,332,599	3,461,395
繰延税金負債	14,544	14,302
再評価に係る繰延税金負債	3,171,959	3,171,959
退職給付に係る負債	1,053,673	1,023,239
特別修繕引当金	107,100	125,016
長期預り金	103,916	102,252
その他	123,527	105,807
固定負債合計	7,907,321	8,003,972
負債合計	11,896,257	11,596,801
純資産の部		
株主資本		
資本金	750,000	750,000
資本剰余金	29,459	29,459
利益剰余金	△2,761,310	△2,525,354
自己株式	△32,276	△32,584
株主資本合計	△2,014,127	△1,778,480
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,759	55,906
土地再評価差額金	6,945,670	6,945,670
退職給付に係る調整累計額	22,256	21,299
その他の包括利益累計額合計	7,017,686	7,022,875
純資産合計	5,003,559	5,244,395
負債純資産合計	16,899,816	16,841,196

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収益	2,575,467	2,828,241
営業費		
運輸業等営業費及び売上原価	1,844,908	1,871,791
販売費及び一般管理費	647,751	660,351
営業費合計	2,492,660	2,532,142
営業利益	82,807	296,098
営業外収益		
受取利息	60	806
受取配当金	1,011	1,205
土地物件貸付料	11,794	11,574
その他	2,332	2,629
営業外収益合計	15,199	16,216
営業外費用		
支払利息	25,476	32,471
その他	4,612	5,011
営業外費用合計	30,089	37,483
経常利益	67,917	274,831
特別利益		
固定資産売却益	6,036	3,503
工事負担金等受入額	21,524	—
補助金受入額	19,400	330
特別利益合計	46,961	3,833
特別損失		
固定資産圧縮損	40,924	330
減損損失	43,122	1,301
貸借契約解約損	—	3,765
特別損失合計	84,046	5,397
税金等調整前中間純利益	30,831	273,268
法人税、住民税及び事業税	4,885	36,874
法人税等調整額	489	438
法人税等合計	5,374	37,313
中間純利益	25,456	235,955
非支配株主に帰属する中間純利益	23	—
親会社株主に帰属する中間純利益	25,433	235,955

（中間連結包括利益計算書）

（単位：千円）

	前中間連結会計期間 （自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）	当中間連結会計期間 （自 2025年4月1日 至 2025年9月30日）
中間純利益	25,456	235,955
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,603	6,146
退職給付に係る調整額	766	△957
その他の包括利益合計	△837	5,189
中間包括利益	24,619	241,144
（内訳）		
親会社株主に係る中間包括利益	24,602	241,144
非支配株主に係る中間包括利益	16	—

（3）中間連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（中間連結損益計算書に関する注記）

※1. 販売費及び一般管理費の主なものは次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
給与・手当	242,323千円	229,630千円
賞与引当金繰入額	33,149	35,693
退職給付費用	11,711	23,385
減価償却費	23,217	14,473

（中間連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当中間連結会計期間における中間連結キャッシュ・フロー計算書に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
減価償却費	96,573千円	92,079千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自2024年4月1日至2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,635,011	178,776	252,165	297,054	2,363,008	212,458	2,575,467	—	2,575,467
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	4,913	7,518	3,947	17,170	33,549	208,901	242,451	△242,451	—
計	1,639,925	186,295	256,113	314,224	2,396,558	421,360	2,817,919	△242,451	2,575,467
セグメント 利益又は損 失(△)	△89,540	112,314	35,773	10,205	68,753	9,187	77,941	4,865	82,807

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、旅行業及び建設・電気工事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額4,865千円には、固定資産未実現損益の消去額1,957千円、セグメント間取引消去額2,908千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「鉄道事業」セグメントにおいて、43,122千円の減損損失を計上しております。

Ⅱ 当中間連結会計期間（自2025年4月1日 至2025年9月30日）

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鉄道事業	不動産 事業	観光事業	卸売・ 小売業	計				
営業収益									
外部顧客 への営業 収益	1,829,622	162,645	334,950	317,052	2,644,270	183,971	2,828,241	—	2,828,241
セグメン ト間の内 部営業収 益又は振 替高	5,417	7,285	3,128	15,236	31,067	139,099	170,166	△170,166	—
計	1,835,039	169,930	338,078	332,288	2,675,337	323,070	2,998,407	△170,166	2,828,241
セグメント 利益又は損 失 (△)	125,467	96,177	85,678	7,825	315,148	△24,513	290,635	5,463	296,098

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、バス事業、旅行業及び建設・電気工事業を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失 (△) の調整額5,463千円には、固定資産未実現損益の消去額2,099千円、セグメント間取引消去額3,364千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
重要性が乏しいため、記載を省略しております。

3. 補足情報

（参考）鉄道事業旅客人員と旅客収入及び貨物トン数と貨物収入

			当中間 連結会計期間	前中間 連結会計期間	増減率（%）
旅 客 人 員	定 期	千 人	2,254	2,299	△2.0
	定 期 外	〃	1,559	1,501	3.8
	計	〃	3,813	3,801	0.3
貨 物 ト ン 数		千トン	768	715	7.4
旅 客 収 入	定 期	百万円	367	327	12.2
	定 期 外	〃	715	596	20.1
	計	〃	1,083	923	17.3
貨 物 収 入		〃	630	587	7.3